

福知山地方本部

第33回定期地本大会 運動方針・予算・規則の改正を採択 大会議長 小森氏選出 書記長誕生する



挨拶する
野垣執行委員長

8月26日(土)中丹勤労者福祉会館において、JR西労組福知山地方本部第33回定期地本大会を、4年ぶりにご来賓・傍聴を含めフルスペックで開催しました。大会議長には、福知山運輸所分会の小森代議員を選出し、福知山地方本部の運動方針・予算・規則の一部改正が採択されました。質疑では7名の代議員が発言し活発な質疑応答が行われました。(質疑内容は次号掲載予定です)

1. 安全確立の取り組み
4月から我々が提起を行った心理的安全性や変更管理の考え方が盛り込まれた「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」がスタートした。策定にあたっては労使で議論を積み重ねており、「お客様が死傷する列車事故、死亡に至る鉄道労災発生させない」を達成させる義務があり、私たちの取り組みにかかっている。

2. 2023年度総合労働協約改訂交渉と一時金の要求・2024春季生活闘争について
2023年度総合労働協約改訂交渉は、コロナ禍による鉄道事業の将来不安もあり、人財への基盤が揺らいでいる。人財への確保と労働条件の向上を図るべく10

3. 組織について
今年度、福知山エリア配属新規採用者13名、社会人採用者6名、全員をJR西労組に加える取り組みに御礼申し上げる。しかしながら、コロナ禍において、世話役活動が停滞したことの衝動に駆られているのは私だけではないと思う。「絆」を大切にこれまで以上に組合員に寄り添った活動を実践し、改めて組合員に信頼される、魅力と求心力あるJR西労組福知山地方本部を全組合員参画で創り上げていく事を要請する。

4. 政治参画について
2025年の第27回参議院議員通常選挙まで国政選挙はないが、衆議院はいつ解散するかわからない情勢である。福知山地方本部は8月4日に開催した第12回地本執行委員会において、第50回衆議院議員選挙京都府第5選挙区山本和嘉子立憲民主党京都府第5区総支部長を

新役員名簿
執行委員長 野垣 克彦
副執行委員長 谷岡 登
書記長 田里 亮人
執行委員 上井 康裕
内藤 英人
井垣 優哉
古川 武司
岩佐真寿美
船田 賢一
酒井 宏剛
藤原 勝都
笠原 貴大
阿瀬 亮
猪頭 淳
櫻井 郁美
門石 祐介
大槻 桂士
会計監査員

の要求は5.0箇月であり、コロナ禍前の水準には至っていない。2023年度は、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の初年度であり、うめきた(大阪)地下駅の開業や奈良線複線化工事等のビッグプロジェクトの効果や来年3月の北陸新幹線敦賀延伸等を踏まえ、然るべき時期に「一時金を要求する。2024春季生活闘争方針は、来年2月5日の第42回中央委員会決定するが、賃上げの継続性が求められる大変重要な2024春季生活闘争となる。毎年9月に取り組んでいる「賃金実態調査」は100%集約に拘った取り組みを要請する。

推薦決定している。来年6月19日に任期満了を迎える福知山市長選も実施される。最後に、我々はコロナ禍において制限がある中、活動を推進してきた。コロナを乗り越えた我々は以前に比べ、労働組合の存在意義や必要性、重要性を改めて知ることができ、行動力・実行力を身に付けたことにより筋肉質な組織に成長した。我々はコロナウィルスという目に見えない敵と闘い続け、一時期は真つ暗闇の中にいた。しかし、我々は明るい未来を信じ、総団結でこの難局を切り拓いてきた。この成果を自信とし、今後も組合員と家族が豊かで充実した幸せな人生、働き甲斐の持てる労働条件・職場環境の改善、福祉・増進等に取り組み、社会的・経済的な地位の向上等に向け進み続けなければならぬ。新たな執行部体制になるが、全力で取り組む。引き続きのご理解とこれまで以上のご協力をお願い申し上げます。

御来賓(敬称略)
連合京都 原 敏之
京都府議会議員 小原 舞
前衆議院議員 山本和嘉子
こくみん共済COOP
京都推進本部 飯田 淳一
明治安田生命 近藤 竜太
近畿労働金庫福知山支店 中西 俊雄
JR西労組福知山地方本部 退職者協議会 須藤 悦夫
中央本部 羽野書記長
中村業務部長



書記長に選出された、上井書記長